

文化財から美浦村を知る！



新春美浦かるた大会

美浦村を紹介した美浦かるたを使ってかるた大会を開催しました。白熱した対戦がみられ盛り上がりました。美浦かるたで美浦のよい所を再発見！



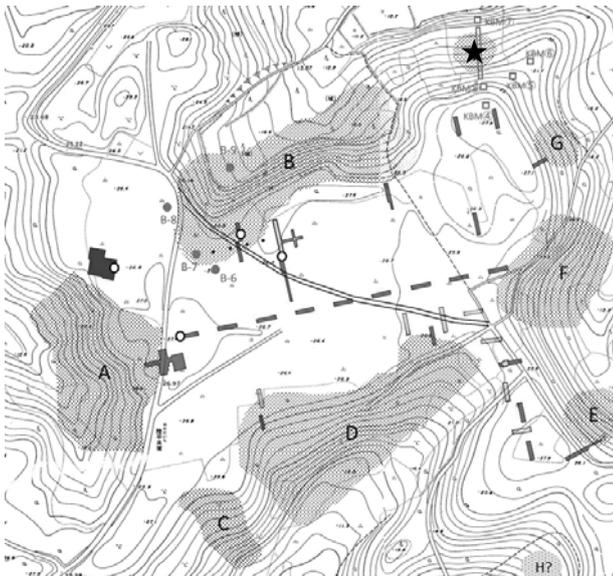
陸平貝塚調査

12月に実施した陸平貝塚の発掘調査。整理の初めは出土した土器などを洗います。どんな遺物が出土したのかな？（調査についてはP2～3をご覧ください。）



歴史講座「史料で探る美浦の中世史」

中世の美浦村は、戦国時代に木原城がつくられ、今とはちがった村の様子がありました。古文書を中心にした史料から中世の美浦を探りました。



陸平貝塚平面図（上が北）



★調査地点 写真1 検出された縄文時代後期前半の貝層（北東から）

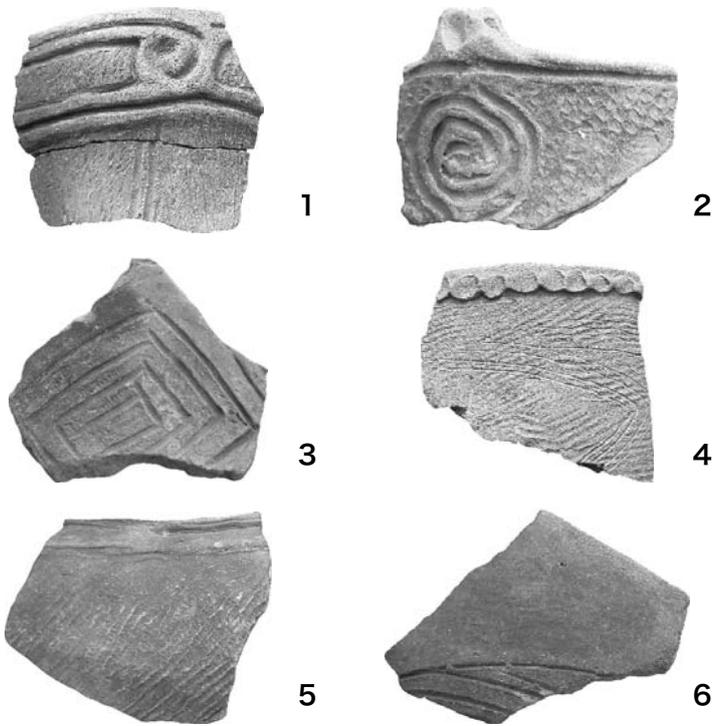
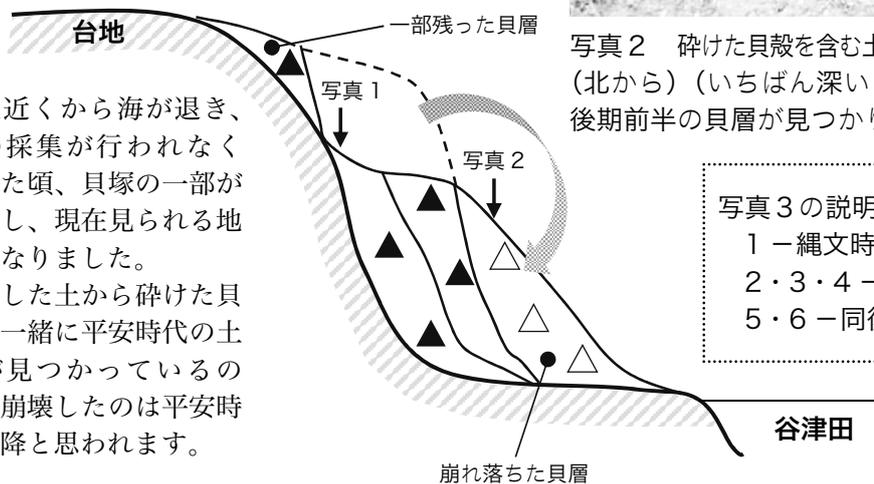


写真3 出土した縄文土器



写真2 砕けた貝殻を含む土層が厚く堆積している（北から）（いちばん深いところから縄文時代後期前半の貝層が見つかりました）



台地近くから海が退き、貝の採集が行われなくなった頃、貝塚の一部が崩壊し、現在見られる地形となりました。崩壊した土から砕けた貝殻と一緒に平安時代の土器が見つかったので、崩壊したのは平安時代以降と思われます。

写真3の説明

- 1 - 縄文時代中期後半の土器
- 2・3・4 - 同後期前半の土器
- 5・6 - 同後期中頃の土器

陸平貝塚の調査－ I 貝塚の謎にせまる！

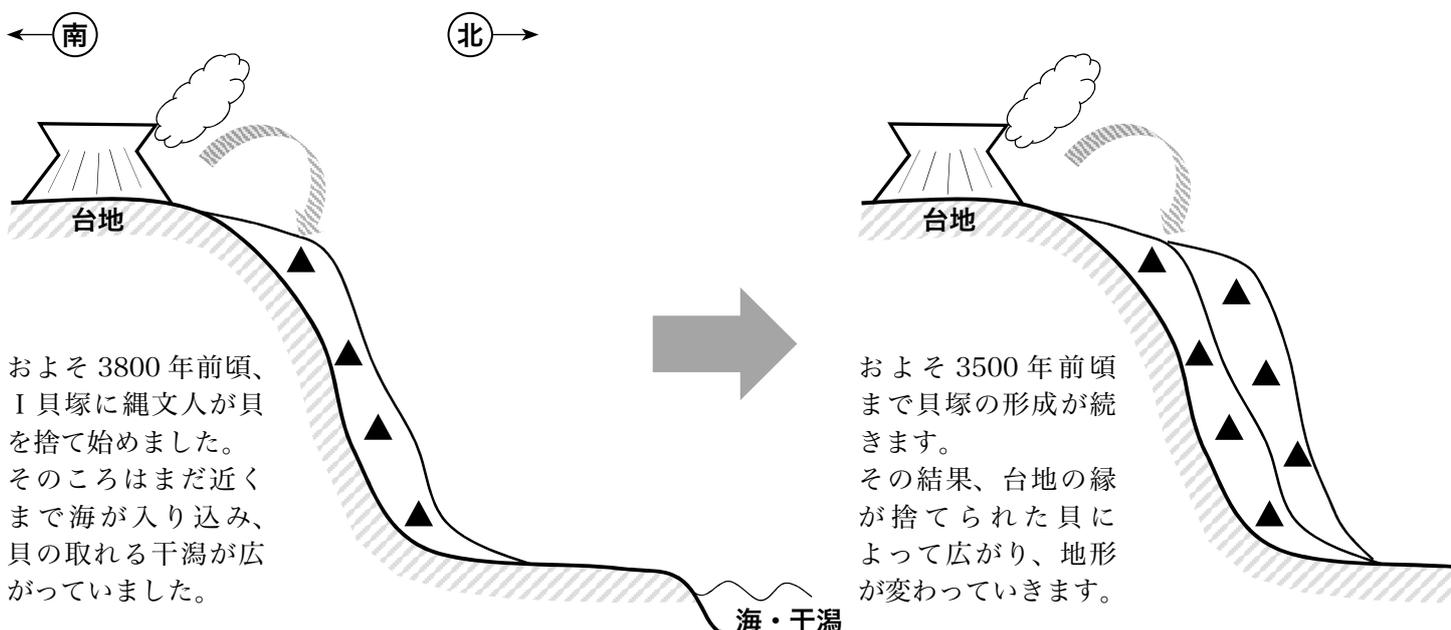
陸平貝塚には全部で8ヶ所の縄文時代の貝塚が残されていますが、その内昭和62年の調査で初めて発見された「I (アイ)」と符号のつけられた貝塚は今まで一度も調査されたことがありませんでした。そこで今回そのI貝塚の調査を行い、謎に包まれたその姿を明らかにすることとしました。

それではなぜI貝塚が謎なのかというと、陸平の他の貝塚が全て台地の縁から見られるのに対して、I貝塚は台地斜面の途中から現れ、何とも奇妙な印象を受ける貝塚でした。そんなことから昔の調査で掘り出した貝が捨てられているだけではないか、というようなことも言われていました。

調査の結果、縄文時代後期前半（約3800年前）に形成された保存状態の良い貝層が検出されました（写真1）。調査で掘り出した貝で作られた貝塚ではなく、確かに縄文人が残したものでした。貝塚の貝はほとんどがハマグリで、他にバカガイやアカニシが目立ちます。貝塚の下からはさらに古い縄文時代中期後半（約4300年前）の土層が見つかりましたが、貝塚はありませんでした。この時期の貝塚はI貝塚の南東に位置するG貝塚で見つかっています。

ところで、どうして斜面途中から貝塚が始まっているのかという疑問はまだ解決されていません。そこで検出された貝塚より標高の高い斜面上方と低い下方を調べてみることにしました。その結果、これまで貝塚はないと思われた台地斜面上部に貝塚が一部残されていることが判明しました。また下方では砕けた貝殻がたくさん出てきて、2m程の深さからようやくI貝塚の続きと考えられる縄文時代後期前半の貝層が見つかりました（写真2）。この砕けた貝殻が含まれる土層からは縄文時代後期中頃（約3500年前）の土器が目立って出土しました。

このことから次のようなことが想定できます。まず3800年前頃に縄文人がこの場所（台地斜面）に食べた貝を捨て始めます。それが3500年前頃まで続き、その結果台地の縁が広がるように地形が変わります。その後ある時、貝塚上部の一部が崩壊し、斜面下方へと流れていきました。砕けた貝殻の正体は崩壊した貝塚の一部であると考えられます。つまりI貝塚も陸平の他の貝塚と同様、当初は台地の縁から形成されていたものが、何らかの原因で崩壊し、あたかも斜面途中から始まっているように見えたのではないかと推測されます。因みに崩壊の原因は、現在の地形から判断すると、大雨もしくは地震による地すべりと判断されます。またその時期は、砕けた貝殻の土層に縄文時代の土器に混じって平安時代の土器が見つまっていることから、平安時代以降に発生したことが考えられます。



調査から分かった地形の移り変わり

投票期限は
9月30日(土)

あなたがききたい落語を投票しよう！ 梅朝基礎落語リクエスト大募集！

梅朝基礎落語は今年の秋めでたく20回目を迎えます。記念すべき第20回は皆さんのリクエストにお答えする内容を企画しました！「これまでの演目からもう一度聞きたい」「まだやっていないけどぜひこの演目を聞きたい」そんなリクエストをどしどしお寄せ下さい！おひとりいくつも投票できます！

★投票方法★

リクエストしたい演目をお書きの上、次のいずれかで投票してください。

①投票箱(文化財センター、中央公民館)に入れる。

②FAX、メール、ハガキ。「梅朝基礎落語リクエスト」とご記入ください。

◆FAX 029-886-0471

◆メール bunkazai@vill.miho.lg.jp

◆郵送先 〒300-0404 美浦村土浦2359 美浦村文化財センター

※選んだ理由があればご記入下さると嬉しいです。お名前はご記入いただくなくても構いません。ペンネームOK。



これまでの落語演目一覧(第1回～第17回)

演目	
千早ふる	やかん
鼓ヶ滝	転失気
崇徳院	元犬
雛鰐	王子の狐
死神	お菊の皿
たいご腹	まんじゅうこわい
火焰太鼓	厩火事
蒟蒻問答	芝浜
子別れ	堀の内
天災	八五郎出世(妾馬)
禁酒番屋	強情灸
ぞろぞろ	大工調べ
井戸の茶碗	あくび指南
時そば	化け物使い
壺算	親子酒
初天神	品川心中
藪入り	二番煎じ

※第20回の開催日は4月以降広報予定



縄文体験を楽しんでみませんか

文化財センターではグループや団体の体験を
通年受け入れています。縄文土器作りや縄文食
作り体験等のメニューがあります。どうぞお気
軽にお問い合わせください。



◆体験メニュー◆

縄文土器作り、ミニ土器作り、
土笛作り、縄文食作り



縄文体験の日!

ゴールデンウィーク中に縄文体験の日
を開催します。当日直接ご来館ください。

日時 5月3日(水) 9:30～16:00

場所 美浦村文化財センター

体験メニュー

土器作り、土笛作り、縄文クッキー、まが玉作り、ほか



古文書講座 参加者募集

- 内容** 村に残された古文書を読む
(少し古文書にふれたことのある方向け)
- 人数** 15名(美浦村在住及び在勤の方)
- 講師** 平田満男先生 **場所** 文化財センター
- 日程** 全10回(午後1時30分～午後3時30分)
①5月14日 ②6月11日 ③7月9日
④9月10日 ⑤10月8日 ⑥11月12日
⑦12月10日 ⑧1月14日 ⑨2月18日
⑩3月11日
- 参加費** 無料 ※資料代がかかる場合があります。
- 申込み** 文化財センター(電話 029-886-0291)

陸平貝塚公園までの交通アクセス

【車】 by car
常磐自動車道「桜土浦IC」より
国道125号バイパスで約40分
圏央道「稲敷」より15分

【バス】 by bus
JR土浦駅より西口①バスのりば
木原経由江戸崎行き
「谷津入」下車 タクシーで約5分
または「大谷」下車 3.5km

